

きれいな海守りたい



砂浜のごみを捨てる参加者。14日、福井市川岸町

福井の海をきれいに

鷹巣地区50人がごみ拾い

【福井新聞記者 鷹巣地区(福井市)が14日、海岸清掃活動を通じ環境保護の大切さを感じてもらおうと、同市鷹巣地区で開催された。家族連れ約50人が参加し、砂浜に「きれいな海をキープ」をテーマにしたイベント「福井新聞社主催 三井不動産特別協賛 福井市」を開催した。

同日、川岸町の海岸沿いの約200坪の会場に、参加者約50人が集まり、清掃活動を行った。参加者は、夏の日差しが照りつける中で汗を流して1時間近く作業を続けると、砂浜がすっきりした。福井市川岸小3年の杉山由真さんは「思ったよりもごみが多かったけれど、きれいになっただけで、うれしい」と話していた。清掃場所の砂浜で地引網を体験し、鷹巣海水浴場でハイキングも楽しんだ。(桂野)

福井県の魅力の一つとして挙げられる「海」だが、観光資源として利用される一方、海岸のごみが目立つように感じられる。この記事を読んで改めてそう思った。さらに、海をきれいにするためのイベントを知らなかったもので、県全体で海を大切にしていることがう



親崎 智乃さん(越前中3年)

私の住む町は目の前が海なので、海が生活の一部になっている。だから、私たちの海をこの先、100年守り続けようと、生徒会で企画して海岸清掃ボランティアを始めた。たくさんのごみが捨てられており大変だったが、海がきれいになる様子を肌で感じ、満足感を感じた。生徒会が行うものと地域のものでは規模が違うが、海を思う気持ちは同じなので、これからも続けていきたい。そして、海の魅力と大切さを日本全国に伝えていきたい。